



図書館通信 NO.1

新田暁高校図書館発行
2025.4.30

2、3年生の皆さん、元気に毎日を過ごしていますか。1年生の皆さん、入学おめでとうございます。新田暁は、生徒も先生もハッピーな最高に楽しい高校ですよ。さらにハッピーになるために、強かに読書をおすすめします。本校の図書室にはおもしろい本がたくさん。どれを読もうか、ワクワクするよ。



第71回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書 が決まりました！！

課題図書紹介



『銀河の図書室』 名取佐和子 著（実業之日本社）

宮沢賢治とその作品を研究する高校同好会イーハトー部を一人で起ち上げた風見先輩だが、「ほんとうの幸いは、遠い」という言葉を残して、突如学校に来なくなってしまう。

「図書ノ教室」を活動場所として、残された3人の部員たちがその謎を解明すべく賢治の作品を読み解いていく。その過程で、部員たちもそれぞれ抱えている問題と対峙し苦悩しながら、なんとしても先輩の復帰を願う気持ちが高まっていく。「ほんとうの幸い」とは。

『夜の日記』 ヴィーラ・ヒラナンダニ 著、山田文 訳、金原瑞人 選（作品社）

1947年、宗教の異なりからインドとパキスタンが分離独立、激しく敵対する。物語は、一家で命懸けの逃避をする12歳の少女の日記を通して展開する。異変を感じたのは、学校の男子に石を投げられた時。なぜ。大人も様子がおかしい。多様な人が平穏に暮らす土地ではなくなったのか。事態はどんどん悪化していった。

世界で続く憎悪と不信の衝突。過去のあやまちを思い、違いを受け入れ、寛容で平和な未来を、と著者は願う。

『「コーダ」のぼくが見る世界：聴こえない親のもとに生まれて』 五十嵐大 著（紀伊國屋書店）

「コーダ」は、耳が聴こえない、あるいは聴こえにくい親のもとで育った、聴こえる子どもたちを意味する。

著者はコーダであり、幼いころから、親と世間と二つの世界を結ぶ「通訳」のような役割を担い、社会に潜む偏見や差別にも行き当たった。この社会は「健常者」を前提に形作られているように思われる。様々な経験を経て、コミュニケーションで重要なのは、「理解したい」「伝えたい」と願う気持ちであると説く。

※課題図書の紹介文は「学校図書館速報版4月1日号」p20より引用しました。

新着図書案内

No.	分類番号	書 名	著者・編者・監修者	出版社
1	5 3 8	日本の宇宙開発最前線	松浦晋也	扶桑社
2	6 7 4	なぜか買いたくなる“もちもち”の秘密	藤野良孝	青春出版社
3	7 6 0	ヒット曲のすごい秘密	中島さち子	青春出版社
4	7 8 0	国際情勢でたどるオリンピック史	村上直久	平凡社
5	7 8 3	だから、野球は難しい	橋上秀樹	扶桑社
6	0 1 9	教養の鍛錬	石井洋二郎	集英社
7	1 4 1	「性格が悪い」とはどういうことか	小塩真司	筑摩書房
8	2 1 0	日本の古代とは何か	有富純也編	光文社
9	2 1 0	吾妻鏡	藪本勝治	中央公論新社
10	2 3 0	沈黙の中世史	後藤里菜	筑摩書房
11	9 1 3	晩秋行	大沢在昌	双葉社
12	9 1 3	鴉の箱庭	麻見和史	講談社
13	9 1 3	横浜・彷徨の海殺人事件	梓林太郎	徳間書店
14	9 1 3	悪魔には悪魔を	大沢在昌	講談社
15	9 1 3	盗みは忘却の彼方に	赤川次郎	徳間書店
16	9 1 3	キドナプキディング	西尾維新	講談社
17	9 1 3	三毛猫ホームズと炎の天使	赤川次郎	光文社
18	9 1 3	魔弾の標的	麻見和史	講談社